

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	地域組織活動育成事業		コード	02-01-01-05
			担当課・係	福祉事務所児童福祉係
事業実施期間	S63 -		担当者	藤田
			電話	64-1825
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	子育て支援		

事業について	
目的 (何のために)	家庭児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動を促進する。
対象 (誰・何を対象に)	母親の連帯組織(母親クラブ)など児童健全育成に寄与する自主的な団体(保護者がおおむね30人以上)
内容	組織に対し、その活動費の助成を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
地域組織活動育成事業	交付団体数 9 会員数 414	交付団体数 11 会員数 514 活動回数 364	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源			
	直接事業費 人件費	1,701 415	間接補助金等 受益者負担 市債	1,134	直接事業費 人件費	2,079 380	間接補助金等 受益者負担 市債	1,386		
合計	2,116	一般財源等	982	合計	2,459	一般財源等	1,073	合計	0	一般財源等

結果指標	結果指標名	交付団体数	交付団体数
	結果指標量	9	11
	単位	団体	団体
	対前年比		122.22%
結果指標	活動にかかるコスト	2,116,000	2,459,000
	単位当たりコスト	235,111	235,111
	結果指標名		
	結果指標量		
結果指標	単位		
	対前年比	-	
	活動にかかるコスト		
	単位当たりコスト		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	積極的な参加を促し活動が活発化することで、事業目的により一層の効果を上げる。		
成果指標名	平均活動回数	式又は説明	活動回数/交付団体数
成果指標量	17年度 14.11回	18年度 33.09回	
対前年比	-	234.51%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	毎年

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 岡山県民間児童厚生施設等活動推進等事業費交付要綱	課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	地域組織の活動に対する補助事業でその活動を育成助長するための必要な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	支給金額は各団体に一律189,000円を支給している。事業内容については、実績報告で確認している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	児童の健全な育成を促進するため、母親クラブなどの自主的な団体の活動を今後も支援していく必要がある。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明	H18年度補助金の20%カットとしている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	11団体	結果指標量

総合評価	活動費助成を行うことで園児、家庭児童の保護者の活発な活動ができ、園児、家庭児童の健全な育成に寄与できている。	評価区分 <A~E>	C
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果